

教材教具名	ボールで迷路	分類	Stage I	
		対象授業等 (内容) (学部)	国語	自立活動 高等部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的地までボールを運び、目と手の協応性を高める。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤シールの地点からボールを指で転がし、ゴールの穴まで運ぶ。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 段ボール箱(A3サイズ)、厚紙(縦25mm・横400mm)3本、ボール、丸シール(赤)
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボールがはみ出ない高さや幅を設定して、指で運ばないと進めないように設定した。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 課題に集中して取り組める場面が増えた。
- ・ 指先をよく見てボールを進ませる様子が見られるようになり、目的に沿った動作になってきた。

教材教具名	スプーンの練習	分類	Stage I 操作	
		対象授業等 (内容) (学部)	自立活動	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ スプーンですくい、ケースに移すことができる。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ スプーンを使って、ポンポンボールをお皿から別の容器に移す。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ スプーン、ポンポンボール、お皿、タッパ
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ タッパに子どもが好きなキャラクターを貼った。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ タッパに子どもが好きなキャラクターを貼ったことで興味をもち、学習の意欲向上につながった。

教材教具名	色のマッピング洗濯ばさみ	分類	Stage I 操作	
		対象授業等 (内容) (学部)	数学	中学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 色をマッピングさせることができる。 親指と人差し指(拇指対向)で洗濯ばさみをつまむことができる。 両手を使って作業をすることができる。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> 目の前に2本スプーンを提示する。平皿に洗濯ばさみ2色を入れておき、正しい方の色を選んではさむようにする。 5個終わったら次の色のスプーンを置き、作業を続ける。(終わったスプーンは別のかごに入れる。)
材料	<ul style="list-style-type: none"> 100円ショップに売っている木製スプーン、木製洗濯ばさみ
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> 本人がやりたい色を選んで作業できるようにスプーンを置くようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- 効果ではありませんが、Instagramから引用しました。“ごーやなまけものいくじ”と調べてみてください。

教材教具名	つまむ練習	分類	Stage I 操作	
		対象授業等 (内容) (学部)	個別課題	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 指先を使ってものをつまむ練習をし、指先の力をつける。 			

教材教具の概要



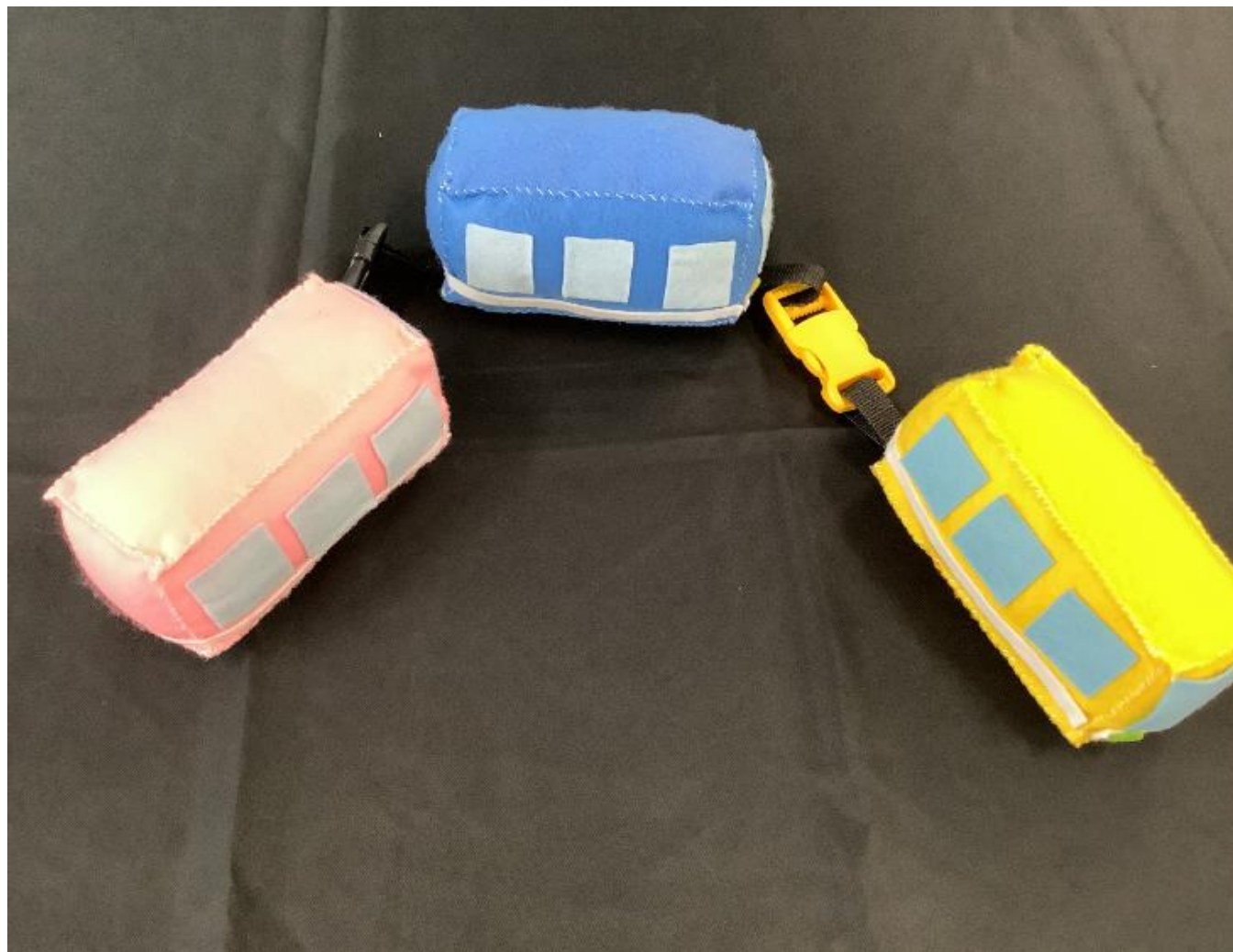
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック容器を木製クリップではさむ。
材料	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック容器、木製クリップ、ラミネートフィルム
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> 弱い力でもできるように木製クリップにした。 クリップを挟むとチューリップが咲くことで、成果を目で見て分かるようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- 最初は両手でクリップを開いていたが、段々片手でも開けるようになった。
- できるようになったら位置も意識して挟むことができるようになってきた。

教材教具名	バックルの付け外し	分類	Stage I 操作
		対象授業等 (内容) (学部)	個別課題 小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ バックルを付けたり外したりすることができる。 ・ 手元を見ることができる。 		

教材教具の概要



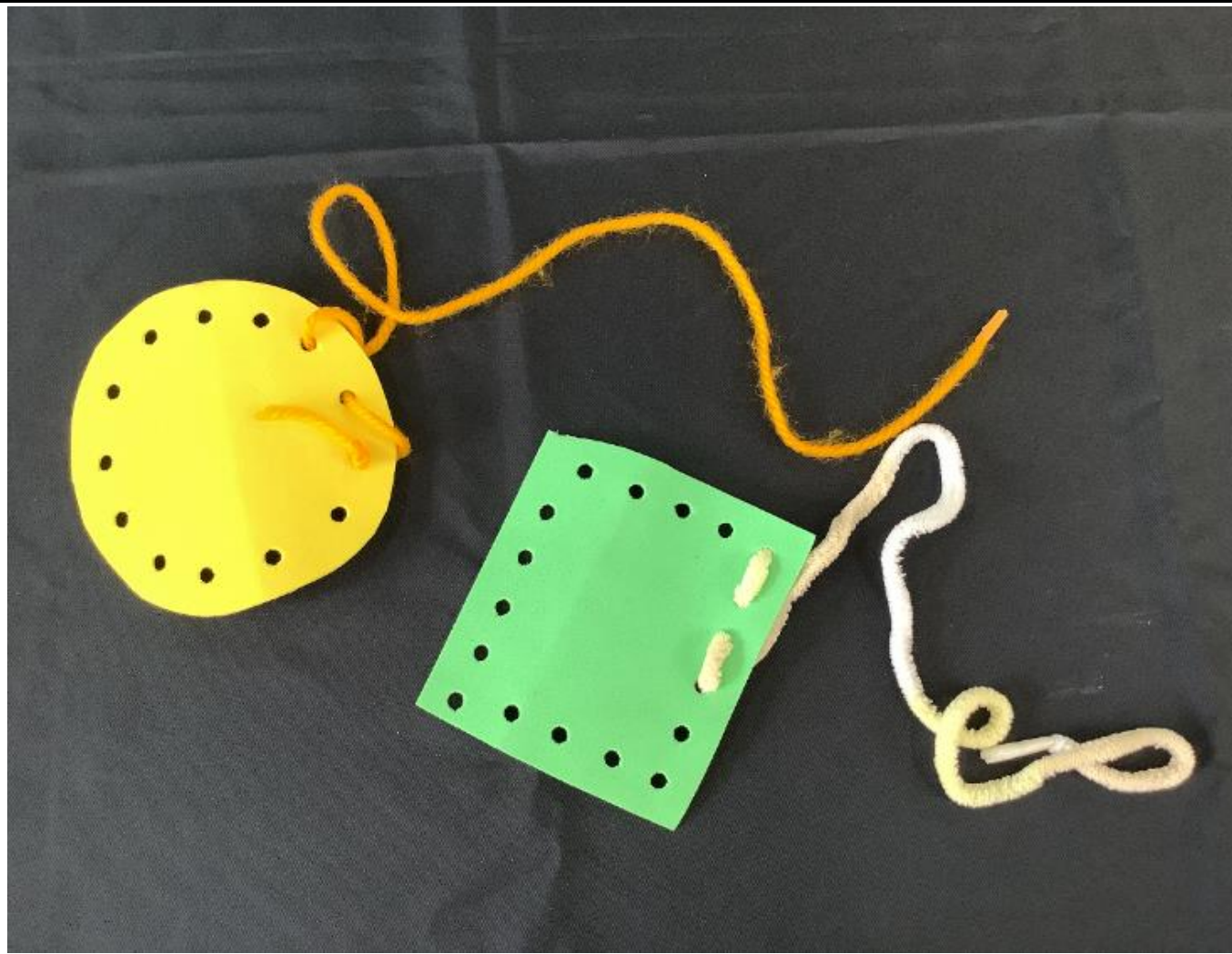
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 机上に電車を置いたり、手に持ったりした状態で、バックルを付けたり外したりする。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ フェルト、糸、紐、バックル、布用ボンド
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種類や色の異なるバックルにすることで、手元を確認して取り組めるようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 種類や色の異なるバックルを用意することで、子どもが手元をよく見ながらバックルを付けられるようになった。

教材教具名	ひも通し	分類	Stage II 操作	
		対象授業等 (内容) (学部)	個別課題	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 端から順に毛糸を穴に通すことができる。 ・ 最後の穴まで集中して取り組むことができる。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 端から順に穴に毛糸を通す。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポンジシート、毛糸
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安価で手に入りやすい材料を使用した。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 子どもの実態に応じて、なみ縫いにしたり、かがり縫いにしたりしてレベルを変えることができた。
- ・ 片手で作業することが多かった子どもが、両手を使って作業をすることができた。

教材教具名	ひも結び(真結び・蝶結び)	分類	Stage III-1 操作	
		対象授業等 (内容) (学部)	個別課題	中学部
ねらい	・ 真結びと蝶結びができるようになる。			

教材教具の概要



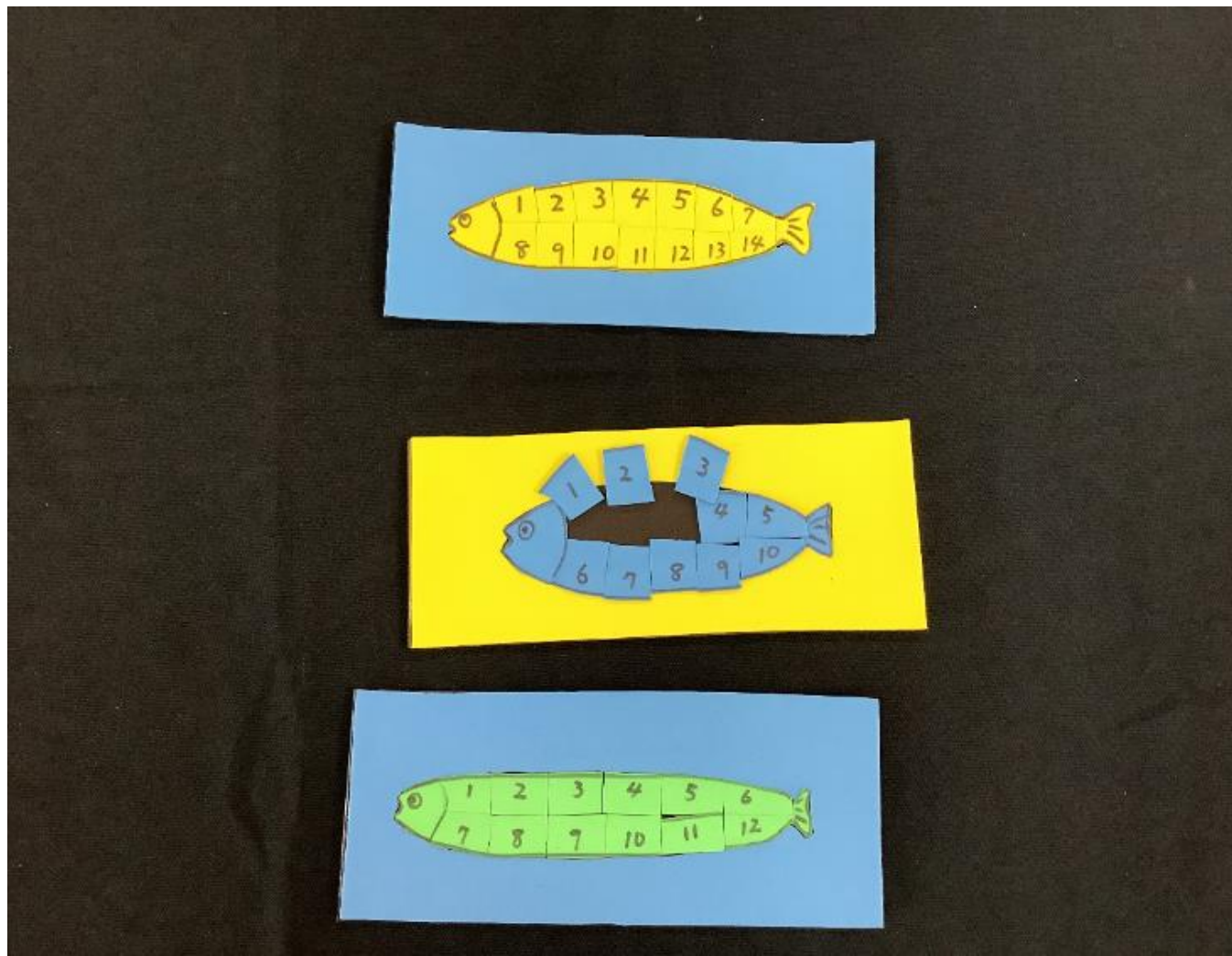
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に教員による実演やタブレット端末の教材動画を見て、やり方のイメージを膨らませる。 ・ 手順一覧表を参考に、一工程ずつゆっくり取り組む。 ・ 3つ結び終わったら、文字カードを見て、自分から報告する。
材料	・ ひも(白・黒)、モール(緑)、厚紙(お菓子の箱)
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左右異なる色のひもを使用し、一度に3回練習できるようにした。 ・ 土台を三角柱にし、長方形の底面を広く取ったことで安定して左右のひもを三角形の頂点で交差しやすくした。 ・ 蝶結びの1つ目の輪の形を保持しやすいよう、一方のひもをモールに変え、弱い力でも一時的に輪の形を保持しながら、スモールステップで取り組めるよう工夫した。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 目の前に教材を置いただけで「触りたい」「やってみたい」気持ちが見られた。
- ・ やり方を忘れた際には何度でも動画を見返して、復習できる。
- ・ 一工程ずつゆっくり確認しながら取り組むには、手順一覧表がより有効であった。

教材教具名	お箸ではがそう	分類	Stage Ⅲ-2 操作
		対象授業等 (内容) (学部)	個別課題 高等部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ お箸ではがす動作ができる。 ・ 魚の食べ方のマナーを身につける。 		

教材教具の概要



使用方法	・ 数字の順番にそって魚のパーツをお箸ではがし、手前の小皿に置く。
材料	・ マグネットシート、スポンジシート
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ つまみやすく加工しやすいスポンジシートを選んだ。 ・ はがす操作に手応えがあるようにマグネットシートでとめた。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ つまむだけの動きではとりづらいパーツなので、はがす動きをさせることができた。